

区民と区長の対話集会

「さとことブレスト（補助 133 号線周辺地域）」（第 3 回）

令和 6 年 1 月 21 日（日）

杉並区都市整備部 都市計画道路担当

◆第3回 さとことブレスト（補助133号線周辺地域）

開催日時：令和6年1月21日（日） 午前10時00分～12時00分

場所：杉並区役所本庁舎西棟6階 第5・6会議室

参加対象者：無作為抽出した成田東1～2丁目、成田西1～2丁目 大宮2丁目、
浜田山1丁目、浜田山3～4丁目、永福3丁目、下高井戸1～4丁目地域の方。
一般応募（区内在住・在勤・在学）の方

参加者人数：16名（4名欠席）

◆ブレインストーミング

1班5人の4班に分かれて、ブレスト形式（※）により実施。

区長は各班を回りながらブレストに参加。

○次の3点の内容を中心にブレスト

①都市計画道路補助133号線（中杉通り）について、
もっと知りたい事、疑問に感じていること

②よりよいまちづくりのために、どのような道路整備が必要でしょうか

③その他、今日のテーマに関連するアイデア・意見など

○参加者から一言

○講評

※ブレスト：ブレインストーミングの略。あるテーマについて数人で自由なアイデアを出し合う会議の方法です。

岸本区長の発言内容（挨拶）

本日は、「さとことブレスト」の3回目ということで、五日市街道から世田谷区との区境までの地域の方々1000人に案内をお送りして、その中から12名、一般公募から4名参加していただきました。本日の「さとことブレスト」も、私が区長に就任してから一貫している「対話の区政」の大切な一環として行ってまいります。

一昨年の10月から行っている「さとことブレスト」は、まちづくりの中で道路づくりを考えるために、自由に意見やアイデアを出してもらおう会として開催しています。これまでに開催した西荻窪と高円寺は既に都市計画道路が事業決定している状況で行いました。そのため、道路整備や事業についての不安の声や反対の意見が根強くあり、道路整備やまちづくりが進む中でどの様なまちにして、何を残していくのか、何をつくっていくのかという議論をしてまいりました。

今日の対話集会はこれまでと少し違います。一つ目は、中杉通りの延伸計画である補助133号線は東京都の事業であるということです。二つ目は、まだ事業に着手していないということです。この補助133号線は東京にとっては大切な道路ですが、杉並区内の住宅街を通る道路であるため、たくさんの不安の声も届いています。一方では、その道路整備を望む声があるのも事実です。このような状況下で、職員やファシリテーターと共にみなさんの声をお聞きしたいと思い、この会を企画しました。

この一連の「さとことブレスト」の開催は、すぐに道路整備を始めるという趣旨ではありません。まずはみなさんのご意見を私たちにしっかりと聞かせて頂きたいと思っています。前回の「さとことブレスト」もとても有意義なものでした。ホームページにアップされている議事録を読んでいただくとわかりますが、補助133号線沿線地域の方々から、その地域のことだけでなく杉並区全体、東京都全体を考えたいという建設的な意見も頂きました。そのためにも基礎自治体として、杉並区民として、東京都からもっと正確な情報を知りたいという合理的なディスカッションを行いました。

今日の「さとことブレスト」での時間も、みなさんにとっても、区政にとっても、もっと広い範囲でも、有意義なものになるように、記録にも残してきちんと積み上げていきますので、どうぞよろしく願いいたします。

ブレインストーミングで出たご意見

■A班

<都市計画道路補助133号線（中杉通り）について、もっと知りたい事、疑問に感じていること>

- ・成田東の空気の良さを道路計画で壊さないでほしい。
- ・環八と環七の間には南北方向に広い道路がない。
- ・計画について存在は知っていたが、内容については知らない人も多いため幅広く周知をしてほしい。
- ・不動産の売買などの際に、都市計画道路について一応の説明はあるが、昭和から進んでいない計画のため真に受けている人は少ない。計画が現実的になって気付く人が多い。
- ・建築などの際に規制があるのに計画を知られていない現実がある。
- ・補助133号線ができたなら、歩行者が横断する際には歩道橋を使うようになるのか。近くの小学校に通う子供たちが遠回りをするようになるのか。
- ・補助133号線を優先整備路線から外してほしい。計画時と現在では状況が違うので見直した方がいい。
- ・南北で高低差があると思うが、どうやって道路をつくるのか。
- ・補助133号線は川沿いを通る予定の部分もあるが、生態系への影響はどのくらいあるのか。調査の上公表してほしい。

<よりよいまちづくりのために、どのような道路整備が必要でしょうか>

- ・自転車専用レーンや駐輪場の整備など、自転車利用者に配慮してほしい。
- ・完全な歩車分離を行って、自転車専用レーンに車が駐車できないようにするなど、法整備もあわせてしてほしい。
- ・利便性や防災面だけを考えているとつまらないまちができそう。住んでいて楽しいまちにしてほしい。
- ・植栽はしっかり考えて整備してほしい。
- ・ハード面だけでなくソフト面でも出来ることがある。
- ・車中心に考えず、人中心に考えて道路が必要か考えてほしい。
- ・まちづくりを進める上で、緑化に力を入れてほしい。

<その他>

- ・大きい道路ができると大型車両が通るようになり、近隣に騒音の問題等が発生する。
- ・自転車は歩道を通れないが、車道を通るのも怖いので、安全に通れる道が欲しい。
- ・狭い道路内にある空き家のブロック塀を何とかしてほしい。
- ・自転車のルールを周知徹底してほしい。
- ・道路が分断された場合にヘリコプターから消火剤散布をするなど、防災面は空からの視点も含めて考えてほしい。

- ・杉並区は南北の交通が弱いので、すぎ丸を利用しているが混んでいて座れないことも多いため、本数を増やしてほしい。
- ・すぎ丸の路線やルートを増やしてほしい。公共交通機関への転換を図れば自動車利用者が減るのではないか。
- ・すぎ丸には大きい道路ができて細い道路を通って家の近くにきてほしい。
- ・歴史背景などに違いはあるが、ヨーロッパなど他の国やまちを参考にして、まちづくりを行ってほしい。
- ・細い道路なのに交通量が多く、自転車と自動車のすれ違いが大変な道がある。
- ・古民家カフェやホテルなど、空き家利用も他のまちなどを参考に考えてほしい。
- ・地主の方が世代交代しているタイミングのため、道路のセットバック等の整備をするにはいい機会なのではないか。
- ・みどり豊かな杉並を残してほしい。

■B 班

<都市計画道路補助 133 号線（中杉通り）について、もっと知りたい事、疑問に感じていること>

- ・この会の通知が来て初めて計画を知った。
- ・世田谷区まで通勤で車を使っているが、環八や荒玉水道道路を使っている。渋滞などを考えるともう 1、2 本縦の広い道路が欲しい。
- ・環八はものすごく混む。
- ・実際に住んでいる立場から言わせれば、30 年以内に大地震が来ると言われていると同時にハザードマップ上で火事の危険性が高い地域になっているこの地域においては、16m の道路で延焼を抑える計画なのであれば、住んでいる人が立ち退かなければならなくなったとしてもつくる必要があるのではないかと思う。
- ・計画を知った時は「ここをぶち抜くのか」と率直に思った。
- ・同級生や知り合いが計画内に住んでいるので、そういうことを考えると果たして必要なのかなと考えてしまう。
- ・世田谷区へ向かう道路が少なく、混雑してしまうことを考えれば迂回路があった方が良いと思う。特に荒玉水道道路をよく使うが、一方通行で車やバイクは片方しか使えない。
- ・道路を整備したことによる交通のシミュレーションをして検証してほしい。
- ・補助 132 号線は小さい道路を大きくするものだが、補助 133 号線は現道のないところに通してしまおうとするもので、びっくりした。
- ・この計画は 75 年前の復興計画で、その頃は焼け野原で何もなかったかもしれないが、この 75 年間で住宅や商店街ができている。その人達から言わせれば 75 年間必要のなかったものは今でも必要ない。
- ・高度経済成長期やモータリゼーションなどの社会的事情で計画が続いているが、今は補助 132 号線含めて自動車や人は減っている。そのことを考えたら家を壊される人が多くいる中で道路をつくる必要があるのか。
- ・16m の道路をつくると中杉通りまで続く便利な道路になるので、混雑することが心配。
- ・大きな道路で車線が増えると、そこが混雑してより危ない道路になるのではないかと思っ

ている。

- ・道路整備と引き換えにまちの景観が変わってしまう。
- ・そこに住んでいる人たちへの補償が少ない。
- ・ゼロカーボンシティを目指しているのに、この道路ができてしまえば多大なCO2が出てしまう。
- ・この計画は皆の同意を得て進められている計画ではなく、旧都市計画法に基づいて定められて押し付けられた計画であって、一回も話し合いがなされていないし、参加させてもらっていない。
- ・補助133号線ができることによって、この道路は公衆に周知されて通る人が増えてくる。それが渋滞の分散につながるとは限らない。結果的に車が流れてくるので渋滞するのではないか。

<よりよいまちづくりのために、どのような道路整備が必要でしょうか>

- ・南北方向のバスが弱い。
- ・高齢者がよく利用するコミュニティバスが狭い道を通るのは危険。
- ・(荒玉水道道路を例に)世田谷区だと道路にポールが立っていて歩行者と車道を分けているが、杉並区は白線のみのところが多い。飛ばす車も多い中で危ないと感じる。
- ・太い道路がないから渋滞を回避するために皆使うし飛ばす人も多い。
- ・阪神淡路大震災でもそうだが、そこに消防車両が来てくれるわけではないので、町内同士の助け合いが大事だし、まちがどれだけ不燃化しているかということが大事。
- ・世田谷区の太子堂が木密地域だが70%の不燃化率を達成すれば延焼しないまちになると言われている。
- ・防災のことを言うのであれば、延焼遮断帯ではなく不燃化地域を目指していくべき。
- ・阪神淡路大震災では、車両が入る道路は8mあれば十分という結果が出ている。
- ・大きな道路をつくと沿道に高層ビルができてしまう。4階以上の建物が火事になってしまえば多くの消防車や救急車が必要になる。低層住宅であれば少なくて済む。
- ・大きな道路を通すことは渋滞の解消にはつながらない。
- ・杉並区の道路はどれも狭いが、だからと言って広い道路をつくって、箱物を建てていけばいいのかということとは違うと感じる。
- ・学校に通うための自転車や仕事に向かう車のために道路を広げればいいのかというのではなく、そこに住んでいる人のことを考えたまちづくりをするべき。
- ・まちづくりの根本は、単に広い道路や大きな建物を建てばいいのではなく、住んでいる人達の気持ち、自分の望んでいるものをつくっていけるというものではないのか。

<その他>

- ・この計画に大きな反対が起きていることすら知らなかった。反対が多いのか、賛成が多いのか、自分自身が賛成なのか反対なのかを知りたくて参加した。
- ・周りの班を見ているとネガティブな意見、反対の人が多いイメージを持った。
- ・新聞に入ってくる広報誌は見るが、最近は新聞をとる人も少なくなっているから、こういう会や計画を知る機会がなくなっている。

- ・そもそも計画内に住んでいるなど当事者でない若い世代は興味がない。
- ・杉並区は子育て世代が多く住んでいるので、保育園など子育てに関する政策には興味があるのではないか。
- ・杉並区は地域ごとのまちの色が良く出ていると感じる。
- ・区の財源が限られている中で残地は当然買えないので、不動産屋に買ったたかれて、法律に沿った建物であれば、何が建とうが区役所は口を出せない。
- ・住民の声を聞かずに簡単に計画を進めるような区になってしまうことを危惧している。
- ・杉並区は駅前にタワマンがないのが良い。
- ・補助 132 号線では、普通は土地を売ろうとすると相場で取引されるが、65%しか補償されなかった。補償がないわけではないが少しのお金しか出ない。立ち退く前の生活に戻れない。
- ・補助 132 号線は、片側に 5m 拡幅である。そうするとそこで商売が出来なくなったり、住めなくなってしまう。廃業補償が一切ない。
- ・補助 132 号線では、空き地になっている小さな残地があったが、そこに 3 階建の木造住宅が建った。不燃化されて延焼遮断帯になるはずだったのに覆されている状況もある。
- ・補助 132 号線では、東京ガスからの緊急車両が通る目的で道路が広くなると言われていたが、移転してしまった。
- ・補助 132 号線では、すぐ 15m 横に道路が通っていて、緊急時にものを運ぶという点においては既に整っている。道路をゼロから作るに関しては、今実際にそういう道路が近くにないかどうかを考えるべき。
- ・西荻は良いまちなのでそれを崩したくない。
- ・公園が 2 つなくなってしまうということで反対運動が起こっている。

■C 班

<都市計画道路補助 1 3 3 号線（中杉通り）について、もっと知りたい事、疑問に感じていること>

- ・補助 133 号線の完成前後で、五日市街道から青梅街道までの車の通り抜け時間はどのくらい変わるのか。現状この辺の道路は走りたくない。
- ・補助 133 号線ができると下高井戸の方から阿佐谷まで、すぎ丸の乗り換え無しで来られるようになるのか。今は浜田山で乗り換えなければならない。
- ・私はすぎ丸も遠いから、阿佐谷に来るには一度新宿にでなければならない。
- ・都市計画道路は現状、区が持っている敷地を使って通せば良いのではないか。
- ・補助 133 号線の計画は今回を機に初めて知った。
- ・直接都市計画線にかかっていない住民には、どのように計画を周知しているのか。
- ・計画の決定から事業開始まで、周知のタイミングや手順はどうなっているのか。
- ・計画の周知には、インターネットだけでなく、直接計画線がかからない周辺地域含めてポスティングをしたらどうだろうか。
- ・お年寄りにはインターネットやメールで計画を確認できない。
- ・町会に計画のちらしを配れば、回覧板で確認できる。計画を区報にも載せるのがいいと思う。

- ・補助 133 号線の事業主は東京都だから杉並区の一軒一軒にちらし等の配布は現実的ではない。だから杉並区がこうして区内の住民に周知していく必要がある。
- ・せっかく杉並区が頑張っただけでも、隣の区に入ったら狭くなるのでは意味がない。
- ・青梅街道から甲州街道までつながると、区民は便利になると思う。
- ・災害時、能登半島地震の様に道が 1 本だとすごく混んでしまう。けれど補助 133 号線ができれば環七や環八が空き、災害時に効率的になると思う。
- ・救急車や消防車は今のままでは入って来れない。防災や公共性の観点から言えば補助 133 号線はつくった方が良くという人が多いと思う。一方で、緑を大切に考えている人は反対だと思う。
- ・昔は、阿佐ヶ谷駅北側も南側も商店街（松山通り・パールセンター）に道が通っていた。その後、横に新しく今の中杉通りを通した。だから今、使い勝手が良いのではないか。久我山も玉川上水の緑を理由に反対され時間がかかっていたが、東八道路ができた。それにより人見街道が空き、良くなった。2、3 年先をみれば環境や排気ガスという話があるかもしれないが、30 年 40 年先を見据えたらどうだろうか。
- ・今の中杉通りは自転車で走りにくい。つくるなら人も車も自転車も車椅子もベビーカーも通れて、2、30 年後に海外から視察にくるような道にするべきだと思う。それを考えて、全幅 16m、車道 9m 歩道 3.5m の幅員構成で大丈夫なのか。
- ・車道片側 4.5m でトラックの駐車があると、そこを通過する車は反対車線にはみ出す。自転車はトラックが駐車されている箇所は車道を通れなくなる。
- ・みんなに優しい道とはどういうものか考えてほしい。今の計画が一番良いと思わないでほしいし、これをしっかりと区から都に伝えてほしい。
- ・事業化計画の見直しが現在の 10 年スパンでは、世の中の変化には対応できないと思う。2、3 年スパンで見直しできないのか。
- ・10 年先をどう見るかだと思うが、2、3 年で見直しができないのであれば、計画を容易に変更できるフレキシビリティを持った計画にしなければならないと思う。
- ・あり得ないかもしれないが、時間で車道と歩道の幅員構成が変わったりしないか。
- ・ロードプライシングなどどうか。
- ・区民はこの計画そのものを知らない。
- ・例えば道路をつくると何分早くなるなど、具体的なメリットもあげてもらわないと若者は興味を持ってないので、なかなか計画が伝わらない。このような具体的なメリットなどを SNS などで発信してはどうか。

<よりよいまちづくりのために、どのような道路整備が必要でしょうか>

- ・段差が多い道路は通りにくい。
- ・区境の方に住んでいると、今日も新宿に出て区役所まで来るなど、生活は全て新宿で済ませている。今のままでは非常に不便なので、もう少し南北の連絡を充実させてほしいと思っている人たちがいる。
- ・私が住んでいる所では、そこまで不便は感じていない。
- ・すぎ丸が通る道などは狭いので、もう少し広がるとういかなと思う。

<その他>

- ・区境の方に住んでいると、南北の動線がなく区役所など行くのに不便で、中心市街地との格差を感じる。今日も雨の中自転車で区役所まで来た。補助 133 号線ができるのは生きている間ではないと思う。だから、今暮らしている人に対して、道路をつくる以外でも良いので今できることをしてほしい。
- ・将来的には道路をつくることは必要になると思う。今後も増えてくる空き家問題などと同様に、長期的な視点はかかせない。
- ・まちづくりに対する一般住民の声は行政に届きにくいと思う。だからこそ今回のようなテーマの会をやってほしい。
- ・今の区政では区心のことが中心で区境の事は触れられていないと感じた。
- ・区境から区の中心に来るととても便利だなと感じる。同じ税金を払っているから、区境も区の中心も同じように陽を当てて、隅々まで行き届いた区政であってほしいと感じている。
- ・武蔵野市のムーバスの様に、区境まで網羅される様な運航ルートをすぎ丸にも取り入れたらどうか。そうすると、まちづくりのレベルが一段上がるかなと思う。
- ・今回は道路について集まったが、日頃からこのような場があると良いと思う。

■ D班

<都市計画道路補助 1 3 3 号線（中杉通り）について、もっと知りたい事、疑問に感じていること>

- ・都の事業だが、区からの意見がどれくらい通るのか知りたい。
- ・区民からの意見に対してアンサーが欲しい。
- ・区民と意見交換をしながらでは時間がかかるのではないか。
- ・多数の区民の意見をどう反映していくのか。
- ・道路計画の目的やメリット、デメリットが見えてこない。
- ・沿道住民はデメリットばかりに目がいってしまうため、もっとメリットや目的を示すべき。
- ・防災面での緊急性や完了時期を見据えて、区民との意見交換を行うべき。ただだと進めて本当に必要な時に完成していなければ意味がない。
- ・誰のために何のためにやるのかイメージできない。
- ・震災対策を事業の理由にするのはどうかと思う。それを理由にすると日本中道路だらけになる。
- ・南北の通りについては環七や環八もあるため不要なのでは。それよりも東京西部の人達が 100 年ほど前から要望している電車を通す方が良いと思う。
- ・仮に 30 年後に完成するとして車が活用されているのか疑問。
- ・ドライバーの立場から言うと大きいメリットを感じる。今使っている道は非常に狭い。
- ・用地の取得をする際に 1 件だけ同意されないといった場合はどうなるのか。
- ・賛成の人がどれくらいいるのか見えてこない。
- ・沿道住民への影響が大きいのではないか。
- ・コストで見ると民間と公共ではどちらが高いのか、公共の方が高いとなると税金がもったいない。
- ・南北の交通手段が増えると、今度は東西の交通手段が欲しくなる。

- ・メリットが分かりやすくなるようなシミュレーションを行ってほしい。
- ・環七、環八のように既にある道路で十分なのは。

<よりよいまちづくりのために、どのような道路整備が必要でしょうか>

- ・各ライフラインの整備をまとめて行えばコスト削減にもつながりそう。
- ・高齢化が進む中、自動運転なども考慮して道路整備をした方が良いのでは。
- ・そこに住んでない人が訪れたときに住みたいなここで働きたいと思わせるまちづくり。
- ・道路自体や建物と建物の間が広く、ゆとりのあるまちが良い。
- ・自転車専用や人専用のように交通手段によって道路を分ける。
- ・縦断方向に鉄道が欲しいが、道路を整備するならL R Tや自動運転のような新しいモビリティを導入していくのが良い。
- ・L R Tは道路幅員も少なく済むため事業を進めやすいのでは。
- ・富山県のL R Tのように、まちのシンボル、観光資源としてL R Tを活用していくのもありだと思う。
- ・道路以外の案も含めて、いくつか案を出し、それぞれの経済効果や施工費用などを示してそこから住民に選んでもらうようなやり方も良い。
- ・駅ができるとして、その駅までの交通手段を考えなくてはいけない。
- ・整備するなら日本の先進となるような道路にしてほしい。

<その他>

- ・西永福駅の駐輪場が減ってしまい不便を感じているため増やしてほしい。
- ・スマホで駐輪場の空き状況などが分かると良い。
- ・すぎ丸は需要があり混んでいることが多い。

参加者からの一言

・私が今日参加して思ったのは、利己・利他をバランスよく考えたいなと実感しました。自分だけの考えに偏らないことを意識しつつ、とは言って皆さんの意見ばかり聞いておくと自分の幸せに影響するということで、特にこういう計画ではたくさんの皆さんの意見を吸い上げて、リーダーシップをとって決めて頂く区長の存在というのがすごく大事ななと感じました。その区長がこういう場を設けてくださったことに、すごく感謝して、今日はすごく気持ちよく眠れそうです。

・今日まだいろいろと、時間があればずっとお話ししたいくらいなのですが、今日は自分のいろんなアイデアの中で、最初に言いたいのは、今のニーズだけではなくて、数十年先の今の社会がどういう時代になっているかを想定したうえで、複数のソリューションを比べて評価すべきかなと思っています。道路というと車をイメージしがちですけども、それ以外の鉄道とか、ライトレール、モノレール、他にもソリューションがありますので、そういったものを比べて評価する。その時には、住民の評価がそれぞれどっちに向かっているのかというものを区民全体として共有、透明化して、それを見られるようにするべきかなという風に思います。

・私は今回、ブレインストーミングを通じて様々な立場の方々が、様々な意見をお持ちだなというのを非常に感じました。必ずしもやっぱり自分の考えていることだけでなく、違う意見というのが非常に多くあるのだなというのを実感致しまして、一方で、やっぱり今ある課題に対して、どういう風にそれを解決していくのかということのも非常に大事だという風に感じました。今回道路というハード面が中心になっていますけども、ハードだけではなくてソフト面での運用ということでも解決できる部分も多々あるのではないかと、ぜひそのあたりも検討して頂けたらなと感じております。1番大事なのはよりよいまちづくりに前に進めて頂ければなと思います。

・今日のテーマは、かなり長期で考えざるを得ないものだと思います。けども我々区民、ここに集まった方々も毎日生活をしている訳で、実際現実的にはどういう風にということを考えることが大事かなと思います。そのためにもやっぱり、今 AI だとか色んなことが登場しているので、今まではできなかったことができるようになっていけるかもしれないので、AI に頼ることなく、こういう人間のコミュニケーションで人間が英知を出し、それを結集して色んな事が解決できるといいなと思います。特に私なんかは区境の下高井戸に 40 年です。色んなことを感じていますけどもやっぱり隅々までいろんなことがいきわたって欲しいなというのが強い願いです。

・3つポイントをあげさせていただきました。いまお隣の方もおっしゃったように、長い目で見ていかないといけないなということがあります。将来イメージをしっかりと掘り下げていくことが必要なのかなと、あまり個人の目線でいきますとメリットデメリット自分にとって損か得かという話になってしまいますけども、例えば20年後、30年後を見たときに、いろんな方がたぶんまた杉並区に集まって頂いたり、あるいは出ていったりと何らかの人員構成が変わってきます。やはり魅力のあるまちづくり、こういう区に住みたいなというイメージをもつ。その中で何を大事にしていくのか、私はその高度経済成長期がいかに物流を高めていくのか、人の移動をといてところにポイントがありましたけども、いまなんか災害が起こったりとか、高齢社会でいかに救急車を通したりするかとか、命に直結するような話がかかりあがってきていますので、そういった何を重視するのかということが、区民の意見をまとめるには大事かなと思います。育てることが大事かなと思います。

・今日の感想を言いたいのですが、これだけの人数が集まってグループに分けてお話をいろんな方から聞いて、自分の話をしたことが非常に良かったと思います。私のグループは4人だったのですが、この4人という人数がちょうど良かったなと思いました。1番今の自分に残っている言葉としては、道路の使い方ですね。自分は車を運転するということを考えていたのですが、4人の方の話を聞いて、自転車に乗る人もいるし、モノレールにしてはどうかという人もいたり、AI という話もでてきたり、そういう意見を色々聞いたのが非常に良かったです。

・誰得？というのが私はわからないままなのですが、私自身幼少期から杉並区に住んでいていま子育てもしております。その中で南北の移動の必要性ってほとんどなくて、子どもを区役所のそばに連れてく必要があるときくらいで、都として考えたときに板橋、世田谷の移動に何のメリットがあるだろうというのがあまりイメージできなかったもので、この疑問が解消できなかったです。神奈川県で見える範囲の道路を開通させるのに15年以上かかってもまだ開通していないのです。見た目はきれいなのですが、そういうのを見ていると、工事をしたとしてもものすごくゴーがでた後も大変なのだろうなということが想像できて、車も減ってくる中で、膨大な時間とコストをかけてやるべきはこの補助133号線なのかなと、もっと他に大きな有意義な使い方があるんじゃないかなと感じています。

・都に比べて区のレベルだと小さく小回りに動けるかと思うのですが、こういうブレインストーミングの場を持っていただいて、意見を取り入れて頂いて、非常に嬉しいし、区長がリーダーシップをとってくださっているのを感じます。区のブレインストーミングなのですが、前半後半せつかくあって、同じメンバーでやりましたが、メンバーの組み換えであったり、倍の大きさにしたりとか、そういうのがあっても良かったかなと思いました。区のまちづくりにもいれてらっしゃると思いますけども、今後道路とか整備して老人から子供まで便利になっていく中で、スマートシティで緑化とかそういったところの法整備とか、一緒にみんなで考えていけたらと思います。

・岸本聡子さん、公の心を聞くという名前をいただいて、それをモットーとされていると思いますけれども、今後もそのことに期待したいと思います。私は区境に住んでいますが、縦の連絡がないのでそのことを1つここでお願いしたいなと思います。

・今日は色々な世代の方たちとそれぞれの視点でのお話が聴けてとても有意義なお時間でした。私は10年ちょっと前から杉並区に引っ越してきたのですが、それからあまり嫌だとか困ったということはあまりなく、杉並が好きで住んでいますので、これから区役所の方ですとか区長さんのなさる方針が良い方向に進んでいって、計画も1度決めたという風になったら粛々と進んでいって良い方向にどんどんあまり時間をかけずに進んでいけたら嬉しいなと思っています。

・この計画を同期に伝えたいという風にしました。恥ずかしながら区から選んでいただいて初めてこの計画を知りまして、来るまでに調べてきましたけども、まだまだ同期世代も知らない人が多いのかなと思いますので、ひとりでも多くの人にこの計画を知ってもらって、みんなで話し合っていければいいのかなと感じました。

・自分も全然はがきが来るまで知らなかったの、応募してこういうことがあるのだなと思、色んな人の意見を聞いたのでよかったのかなと思います。自分はよく車を運転するので、環8がすごく混んでいて外環もできない中、だったら太い道路を環七と環八の間に1本あればいいなと思います。

・そもそも30代なのですが、違う世代の方と話す機会が全然なかったので、まずこういった場自体ありがたいなと思います。1点言うと、この道路計画を立てる上で、どんなメリットがあるのかというのを、より具体的に分かりやすくお伝えいただけるとこちらとしても、メリットがこれだけあるのだなと分かりますし、自分は結構若い世代だと思うのですが20代30代は特にこの道路計画を全く知らない人が多いと思います。そういった方にどう伝達していくのか分かりやすく情報提供、情報発信そういった部分をよりフォーカスして頂けると、今日集まったメンバーはすごくある意味意識高い人と思うのですが、このメンバーはマジョリティの区民ではないと思います。実際一生懸命生きていてこういった問題とか全く気にしない人達に対しても、少しでも気づいてもらえる機会があったらいいかなと思いました。

・私は杉並に60年以上住んでいるので結構思い入れがありますが、今回頂いた資料の中杉通りの表紙、本当にあの中杉通りでいいのでしょうか。あれの延長線上でつくって欲しくないなと思います。30年後、50年後ここにいる人みんな生きていない、私も生きてないときに出来ると思うのですが、子どもたちに何を残していくか、それがやっぱり大事だと思います。その時に、車だけじゃなくて自転車とか、もしかしたら佐川急便がドローンで運んでくるかもしれない。ドローンが止められるような駐車スペースがいるかもしれない。そんな計画で道路をつくってもらえるといいんじゃないかなと思います。子どもたちにどう残すかということですね。昔は北側の中杉通りも商店街しかなかったのに、東側に1本

通してあれができてよかったね。結局言っちゃうと南側はパールセンターしかなかったのに中杉通りを作ったわけですね。あれはみんなが反対していたパールセンター車が走ったところですよ。

・私はこの計画を知らない、特に反対している人たちの事情や理由を知らない若いお二人と若い職員さん達と一緒にもてる貴重な機会だったと思っています。皆さん若い人たちでしたので、これから杉並の未来を担う人たちです。住んでいる私たちの意見を区政に反映させこの区から全国に発信していけるようなそんなまちづくりと一緒に目指して頂きたいと思います。発信のさせ方は、さきほどメリットを教えてくださいとお願いしたのですが、逆に反対の意見もあってその人たちはこういうことを心配しているよというようなこともきちんと載せて頂くといいかなと思います。私個人の意見としては、まち壊しのない、多くの人たちが出ていくことのない、今まで一生懸命まちづくりに寄与して下さった方たちですので、そこで商売をしたいと思っている人たち、住み続けたいと思っている人たちを排除することのない、そういうどちらかということと不燃率を70%高める、防災のためにですね、そういうまちづくりをして頂きたいと思っています。

・私には弟がおります。喘息です。喘息で非常に苦しんでいる姿を子供のころから見て育ってきました。その私の娘が、最初、環七の近くに住んでいたのですが50mくらいの、保育園の先生に子どもさんが寝ないとか食べないとか、色々言われましてこれはまずいと。ドクターにもこのままでは喘息になるよと言われ、一生懸命アパートを探していま成田西3丁目の善福寺川の近くに見つけて、住むことが出来まして、空気が全然違うんですね。はっきり言っちゃって。ということで、この環境を本当に大切にしたいと思っております。緑豊かな杉並を大事に残したい。安全安心に暮らせる環境を70年前の計画は大胆な見直しをしてほしい。住民の意見こそ優先してほしいということでよろしく申し上げます。

岸本区長の発言内容（ブレストを終えて）

皆さんお疲れ様でした。ありがとうございます。

今日は様々なお言葉を頂きましたが、このような知らない人たちが、同じことを考えるために会話をするということというのが、本当に大切なことだと改めて思いました。普段は目の前のことを考えて日々仕事をしていますが、私自身もこうしてブレインストーミングに来ると、一歩引いてすごく想像力を掻き立てられる時間がどれだけ大事かということをお皆さんから思うことができました。

今日は3回目のブレストとなりますが、やっぱり前回とも違ったなと思います。やはりどのエリアの方が来るかによっても随分違う。もちろんこの補助 133 号線の現実的な課題というのがありますが、今日の皆さんの特徴は、非常に長期的なビジョンとか、まちの姿を構想したいと思っている、それを考えていこうと思っている所が、大きく違い、大きな特徴だったと思います。その時に、この道路は環七と環八の間の南北の道路で、もちろん具体的な視点が大切なことは確かなのですが、一方で、みんなが共通に目指しているまちは、いろんな意味での安全、防災や交通的な安全など、どの視点からの安全かということをお皆さんは求めているし、よりよい環境で空気も緑も求めていきたいということや、共通の価値として、どのように公共空間を使っていくのかということをお考えていらっしゃいました。特にすごいなと思ったのは、公共空間は道路って思い込んでいるけど、そうじゃないかもしれない。例えば、大きな広場とか他の交通手段とかそういうことも含めての 30 年後、50 年後のまちってどうなるのだろう。そういうところから考えていくということが非常に面白かったし、私自身も想像力を掻き立てられました。

私自身が思ったことは、まずこれは東京都の事業で、東京の道路ネットワークですが、東京都の道路とか公共空間は、杉並区のビジョンも重要だけど、杉並区だけでも決められないし、杉並区だけが独立王国みたいに急に違う展開になるのは、近隣区との関係で交通の行き来とか経済活動がありますので、東京都が今の時代に 50 年前の計画を見直しているとはいえ、基本的にはその延長線上で考えるのではなくて、今まさに能登で大きな震災があって、本当に安全とか、本当の意味での 50 年後の物流とかをお考えていくときに、みんなが望む東京都の在り方、ビジョンを今一度考え始めてほしいなと思いました。そこで初めて杉並区での議論というのが生きてくるような関係性が欲しいなと今日皆さんのお話を聞いていて思いました。

私達も区役所の中で、議論をしっかりと形にしていく、続けていくということをおやって参りたいと思いますし、対話をこれからも続けていく中で、きちんと合理的な未来をつくっていける区政でありたいと思っていますので、どうぞよろしくお願ひします。

今日はありがとうございました。